

【聖書箇所 요약】

12年もの間長血を患っていた女がイエス様の衣に触れ、癒されました。イエス様は彼女を見出し、「あなたの信仰があなたを救った」と信仰を確立させ、自立への道を開かれました。

1. 長血の女

A. 12年間の苦しみ

- (1) 婦人病のひとつ
- (2) 汚れた者とみなされる精神的苦しみ
「女にもし、その不浄の時のほかに、多くの日にわたって血の流出があるか、あるいはその不浄の時を越して流出があれば、その汚れの流出の日の間は、すべてその不浄の時と同じように、その女は汚れた者である。」 (レビ記 第15章25節)
- (3) 社会的疎外感

B. 病の影響

- (1) 財産を失う
 - ・治療のため
 - ・弱みにつけ込む悪意ある人のため
- (2) 真正面から行けなくなってしまった
「群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。」 (マルコによる福音書 第5章27節)

2. キリストへの信仰とは

A. 女はキリストの何を知っていたのか

- (1) 知識無し
- (2) 信仰の訓練無し

B. 全ては神にかかっているとの思い

- (1) 彼女の人生経験
 - ・努力が必ずしも報われるとは限らない
 - ・世の中は善人ばかりではない
 - ・全力を尽くしてもかなわないことがある
- (2) 人生のどん詰まりで導かれる境地
 - ・「どうしようもないのだ」か「神が全てをなされる」か

C. 人間の信頼に応答するキリスト

「しかし、イエスはさわった者を見つけようとして、見まわしておられた。」 (マルコによる福音書 第5章32節)

- (1) 目に見える物に頼ろうとする人間
 - ・偶像礼拝 → 依存関係 → 支配
- (2) キリストは人格的關係を結ぼうとされる
 - ・自発的な信仰 → 自立 → 解放

3. あなたの信仰があなたを救う

A. 逃げることをやめる

「その女は自分の身に起ったことを知って、恐れおののきながら進み出て、みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げた。」
(マルコによる福音書 第5章33節)

B. キリストの言葉を聞く

「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」
(マルコによる福音書 第5章34節)

C. 神に見出された安心の中で生きる

- (1) 平安を味わう
- (2) 神を信頼することを選んで生きる
- (3) 癒されても癒されなくても



今日の
ポイント

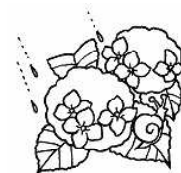
イエス・キリストは私たちと人格的に出会おうとなさいます。今も私たちは見出されつつあることを意識して信仰生活を続けて参りましょう。

— 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その19)

見つけ出す神

- 25 さてここに、十二年間も長血をわずらっている女がいた。
- 26 多くの医者にかかって、さんざん苦しめられ、その持ち物をみな費してしまったが、なんのかいもないばかりか、かえってますます悪くなる一方であった。
- 27 この女がイエスのことを聞いて、群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。
- 28 それは、せめて、み衣にでもさわれば、なおしていただけるだろうと、思っていたからである。
- 29 すると、血の元がすぐにかわき、女は病気がなおったことを、その身に感じた。
- 30 イエスはすぐ、自分の内から力が出て行ったことに気づかれて、群衆の中で振り向き、「わたしの着物にさわったのはだれか」と言われた。
- 31 そこで弟子たちが言った、「ごらんとおり、群衆があなたに押し迫っていますのに、だれがさわったかと、おっしゃるのですか」。
- 32 しかし、イエスはさわった者を見つけようとして、見まわしておられた。
- 33 その女は自分の身に起ったことを知って、恐れおののきながら進み出て、みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げた。
- 34 イエスはその女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」。
(マルコによる福音書 第5章25節～34節)



2018
7 / 18
説教
丸山 芳浩 師